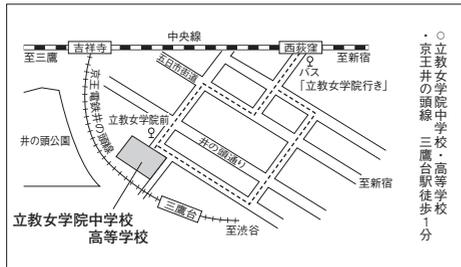


立教女学院中学校

〒168-8616 東京都杉並区久我山4-29-60 ☎03-3334-5103 学校長 浅香 美音子



〈URL〉 <https://hs.rikkyojogakuin.ac.jp/>

沿革 安政6年(1859)、アメリカ聖公会から日本に派遣された宣教師チャニング・ムーア・ウィリアムズによって、日本の女子教育のために明治10年(1877)9月に、神田明神下に立教女学校として創立されました。大正13年(1924)、関東大震災を転機に、より優れた教育環境を求めて現在地に移転、立教女学院の名のもと、発展してきました。昭和6年(1931)小学校を併設、学制改革により、中学校、高等学校となりました。池袋にある立教女学院の創立者も同師であり、建学の精神を同じくする両校は現在も密接な姉妹関係を保っています。令和4年(2022)、創立145周年を迎えました。

校風・教育方針

キリスト教に基づく女子教育機関として、中高6年間の一貫教育を通じて、自らの持つ愛を喜んで他者のために用いることができる人の育成に努めています。学校で学んだ知識、経験を単に自己目的化せず、他者と共に生きることをめざして、教育活動が行われています。

教科教育にとどまらず、直接人間性に触れ、広く社会に目を開かせることを目的とした特別カリキュラムを積極的に組んでいます(「カリキュラムの特色」で後述)。明確な目的意識と自らの意思で将来の道を切り拓く力を身につけた生徒の育成を目標としています。

カリキュラムの特色

教育課程は6年一貫教育で、基本的には学習指導要領に準拠して、編成されています。教育方針

の特色の一つとして、毎日の礼拝、週1時間の聖書の授業があります。また、中1からARE学習を導入しています。ARE学習とはテーマ課題を自ら求め(ASK) 徹底的に調べ(RESEARCH) その過程と結果を発表する(EXPRESS) 学習で、地域の課題や平和・人権について学びます。高校ではARE学習を通して希望者が卒業論文に取り組みます。また、教科授業は週5日、年間10日ほど土曜日の午前中に、人間性を豊かに養う教育として「土曜集会」を行っています。この集会では、日々の礼拝や授業の粋をこえて、「隣人を大切に、平和な社会をつくろう」をテーマに、平和学習、環境問題などを全校をあげて学習します。

中学段階では5学級制(40人学級)を行っています。また、1年を前期(4/1~9/30)と後期(10/1~3/31)に分けた2学期制をとっています。

高等学校では、高2・高3でコース制を導入し、受験をめざす生徒にも十分配慮する体制を整えています。中学・高校とも週1回、7時限目には、教師の指導のもと、学級単位、場合によっては学年単位で、学級活動・ホームルーム活動を行っています。

環境・施設設備

井の頭公園に隣接する東京都の緑地保護指定区

域に位置し、キャンパスも、緑に恵まれた環境にあります。杉並区指定文化財の礼拝堂、講堂、屋内プールを有する総合体育館、小体育館、全天候型テニスコート、特別音楽教室、コンピュータ教室、視聴覚室、生徒ホール(食堂)などが整備されています。

生活指導・心の教育

中学・高校時代は、自分の生き方を見つける大事な時期です。保健室では、生徒の心身の成長を願って、健康相談・保健指導などを通して、一人ひとりの健康管理を援助しています。また、心や身体のバランスをくずし、自分自身では調和を保つことが難しい生徒のために、いつでも保健室や学院付チャプレン等が中心に支援します。

さらに、相談室には、スクールカウンセラーが2人待機しています。小・中・高全体の生徒を対象にしており、学習問題、友人関係、進学進路などについての悩みに応じます。また、家庭教育など、保護者の悩みについても、スクールカウンセ

ラーと一緒に考えます。

学校行事・クラブ活動

イースター礼拝、昇天日礼拝、クリスマス礼拝など、宗教行事が多彩です。そのほか、学年キャンプ(中1・中2・高1)、修学旅行(中3・高2)、体育祭、マーガレット祭(文化祭)、合唱交歓会、修養キャンプ(高3)、中学ボランティアキャンプ、高校聖歌隊キャンプ、高校ハンドベルクワイヤーキャンプ、アメリカ、ニュージーランド、フィリピンの5つの姉妹校との長期・短期の交換留学、UC Davis短期留学、英語スピーチコンテスト、ニューイヤークンサート、スキー学校などを実施し、学校生活を彩っています。

中学校・高等学校には、それぞれ文化部(学芸部)、運動部があり、20以上の部が毎週放課後1~4回ほど、活発に活動しています。部活動のほかに聖歌隊、ハンドベルクワイヤー、ボランティアグループなどが積極的に活動しています。

データファイル

■2025年度入試日程

中学校				
募集人員	出願期間※	試験日	発表日*	手続締切日
約120	1/10~1/25	2/1	2/1(HP上)	2/2

帰国生入試は一般と同日程(募集若干)

※インターネット出願後、書類を郵送

*構内掲示は2/2

■高等学校

募集を行っていません

■2025年度選考方法・入試科目

中学校

一般：国語、算数、社会、理科

帰国：国語、算数

〈配点・時間〉国・算=各90点45分 理・社=各60点30分

〈面接〉なし

■2024年春関係大学への推薦進学

立教大学-123(文13、異文化コミュニケーション8、経済22、経営15、理7、社会24、法14、観光5、コミュニティ福祉1、現代心理10、スポーツウエルネス4、GLAP0)

■指定校推薦枠のある主な大学

早稲田大 国際基督教大 慶應義塾大 上智大 東京理科大 聖路加国際大 芝浦工業大 明治薬科大など

■保証される立教大学への進学

一定の推薦要件を満たせば、受入総枠203人の中、立教大学へ進学できます。

■2024年春卒業生進路状況

卒業生数	大学	短大	専門学校	海外大	就職	進学準備他
185人	172人	0人	1人	0人	0人	12人

■2024年度入試結果

中学校

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
一般	約120	294	274	1.29
帰国	若干	47	43	1.8

学校説明会

入試科目説明会 10月より動画配信予定

見学できる行事

すべてHPから要予約

校内見学会(個別相談含む) 9/21 11/16

マーガレット祭(文化祭) 10/25・10/26

説明会・行事等は日程・内容が変更される場合があります。必ず学校HP等でご確認ください